

2・3学期の漢字

たしかめ

16

79	78	77	76	75
遠	紙	直	回	分
遠くまで遠足に行きました。	画用紙は、絵かきに使う白い紙。	直線がゆがんでしまい、引き直す。	一回、二回と縄を回して縄跳び。	ケーキを半分ずつに分ける。

たしかめ

17

84	83	82	81	80
当	毎	顔	朝	友
布団を日光に当てる。	毎年、春にはツバメが来る。	顔を洗うことを洗顔という。	朝が来た。今日も朝食おいしいな。	君は一番の友達、親友だ。

たしかめ

18

89	88	87	86	85
外	電	半	昼	間
家の外に出かけることが「外出」。	新しい電池を店で買う。	このケーキ、私と姉で半分こ。	お昼だな。今日の昼食、カレーだよ。	休み時間の間にトイレに行く。

たしかめ

19

94	93	92	91	90
兄	母	父	親	楽
僕の兄は五年生だ。	母親を「お母さん」と呼んでいる。	お父さんは、父親ともいう。	両親と顔がそっくり。親子だね。	音楽の時間は楽しく歌いましょう。

たしかめ

16

75	ケーキを半ぶんずつにわける。
76	いっかい、にかいと縄をまわして縄跳び。
77	ちよくせんがゆがんでしまい、ひきなおす。
78	画用しは、えかきに使うしろいかみ。
79	とおくまでえんそくにいきました。

たしかめ

17

80	君はいち番のとも達、親ゆうだ。
81	あさがきた。きょうもちょうしよくおいしいな。
82	かおを洗うことを洗がんという。
83	まいとし、はるにはツバメがくる。 (*「まいねん」とも読む)
84	布団をにつこうにあてる。

たしかめ

18

85	やすみ時かんのあいだにトイレにいく。
86	おひるだな。きょうのちゅうしよく、カレーだよ。
87	このケーキ、私とあねではんぶんこ。
88	あたらしいでんちをみせでかう。
89	いえのそとにでかけることが「がいしゅつ」。

たしかめ

19

90	おんがくの時かんはたのしくうたいましょう。
91	両しんとかおがそつくり。おやこだね。
92	おとうさんは、ちちおやともいう。
93	ははおやを「おかあさん」と呼んでいる。
94	僕のあにはごねんせいだ。

たしかめ

20

99	99	97	96	95
国	科	夜	午	弟
日本 <small>に</small> の <small>と</small> なり <small>の</small> 国 <small>は</small> 中国 <small>だ</small> 。	好 <small>す</small> きな科目 <small>は</small> 、音楽 <small>です</small> 。	夜 <small>に</small> なり、十五夜 <small>の</small> 月 <small>が</small> 出 <small>た</small> 。	今日 <small>の</small> 午前中 <small>は</small> 雨 <small>だ</small> った。	弟 <small>は</small> とても元氣 <small>だ</small> 。

たしかめ

21

104	103	102	101	100
自	工	活	算	語
自分 <small>の</small> ことは自分 <small>で</small> しよう。	工夫 <small>いふう</small> して、紙工作 <small>を</small> や <small>っ</small> てみた。	木 <small>の</small> 上 <small>で</small> 生活 <small>し</small> てい <small>る</small> リス。	算数 <small>の</small> 計算 <small>なん</small> か簡単 <small>かんたん</small> だ。	外国語 <small>を</small> 小學校 <small>から</small> 習 <small>なら</small> う。

たしかめ

22

109	108	107	106	105
里	合	何	帰	時
山 <small>から</small> 里 <small>へ</small> 下 <small>り</small> てきたサル。	答 <small>え</small> が全 <small>ぜん</small> 部 <small>ぶ</small> 合 <small>あ</small> っ <small>て</small> いた。合格 <small>かく</small> だ。	中 <small>に</small> は何 <small>が</small> 入 <small>い</small> っ <small>て</small> い <small>る</small> かな。	家 <small>に</small> 帰 <small>か</small> ることを帰宅 <small>たく</small> という。	七時半 <small>、</small> もう学 <small>が</small> 校 <small>へ</small> 行 <small>く</small> 時 <small>だ</small> 。

たしかめ

23

114	113	112	111	110
角	用	画	番	週
四角形 <small>、</small> 角 <small>を</small> 切 <small>き</small> っ <small>たら</small> 八角形。	火 <small>の</small> 用 <small>心</small> 、マッ <small>チ</small> 一 <small>本</small> 、火事 <small>じ</small> の元。	映 <small>えい</small> 画 <small>を</small> 見 <small>る</small> 計 <small>けい</small> 画 <small>を</small> 立 <small>た</small> て <small>る</small> 。	今日 <small>の</small> テレビ番組 <small>を</small> 調 <small>しら</small> べ <small>る</small> 。	一週間 <small>は</small> 七 <small>日</small> です。

たしかめ

20

99	98	97	96	95
にほんのとなりのくにはちゅうごくだ。	好きなかもくは、おんがくです。	よるになり、じゅうごやのつきがでた。	きょうのごぜんちゅうはあめだった。	おとうとはとてもげんきだ。

たしかめ

21

104	103	102	101	100
じぶんのことはじぶんでしよう。	く夫 ^{ふう} して、かみこ ^{さく} う作をやってみた。	きのうえでせいかつしているリス。	さんすうの計 ^{けい} さんなんか簡単 ^{かんたん} だ。	がいこくごをしようがっこうから習 ^{なら} う。

たしかめ

22

109	108	107	106	105
やまからさとへおりてきたサル。	答 ^{こた} えが全部 ^{ぜんぶ} あっていた。ごう格 ^{かく} だ。	なかにはなにがはいっているかな。	いえにかえることをき宅 ^{たく} という。	しちじはん、もうがっこうへいくときだ

たしかめ

23

114	113	112	111	110
しかくけい、かどをきったらはちかくけい。	ひのよう心 ^{じん} 、マツチいっぽん、か事 ^じ のもと。	映 ^{えい} がをみる計 ^{けい} かくをたてる。	きょうのテレビばんぐみを調 ^{しら} べる。	いつしゅうかんはなのかです。

たしかめ

24

119	118	117	116	115
京	東	星	明	交
京都にはたくさんの寺がある。	東京は、大阪より東の方にある。	星空だ。土星や金星がよく見える。	照明をつけたら部屋が明るくなった。	道と道、交わるところが交差点。

たしかめ

25

124	123	122	121	120
道	止	西	寺	古
細い道から大きな道路に出る。	電池が切れて時計が止まる。	日本より西にある西洋の国。	金色に輝くお寺、金閣寺。	古い時代を古代という。

たしかめ

26

129	128	127	126	125
米	船	台	原	野
ぜひ食べて。おいしいお米の近江米。	風船を船の上から飛ばした。	すべり台、上から下まで一直線。	原っぱをはだして歩く原始人。	野山にいる鳥を野鳥という。

たしかめ

27

134	133	132	131	130
谷	少	理	作	秋
山の上から谷底を見る。	こづかいが少ない。少し増やして。	理科室は、三年生から使います。	ケーキを作ったことを作文に書く。	さわやかな秋晴れ、秋分の日。

たしかめ

24

1 1 9	1 1 8	1 1 7	1 1 6	1 1 5
きよう都 ^と には たくさん ^{てら} の 寺 ^{てら} がある。	とうきようは、おお阪 ^{さか} より ひがしの ほうにある。	ほしぞらだ。どせいや きんせい ^{きんせい} が よくみえる。	照 ^{しやう} めいをつけたら 部屋 ^{へや} があかるく なった。	道 ^{みち} と道 ^{みち} 、まじわる ところが こう差 ^さ てん。

たしかめ

25

1 2 4	1 2 3	1 2 2	1 2 1	1 2 0
細 ^{ほそ} い みちから おおきな どう路 ^ろ に でる。	でんちが きれて と計 ^{けい} が とまる。	にほんより にしに ある せい洋 ^{よう} の くに。	きんいろに 輝 ^{かがや} く おてら、 きん閣 ^{かく} じ。	ふるい じ代 ^{だい} を こ代 ^{だい} と いう。

たしかめ

26

1 2 9	1 2 8	1 2 7	1 2 6	1 2 5
ぜひ たべて。 おいしい おこめの 近江 ^{おうみ} まい。	ふうせんを ふねの うえから 飛 ^と ばした。	すべりだい、 うえから したまで いっちよくせん。	はらっぱを はだして 歩 ^{ある} く げん始 ^し じん。	のやまに いると りを やちよう という。

たしかめ

27

1 3 4	1 3 3	1 3 2	1 3 1	1 3 0
やまの うえから たに底 ^{ぞこ} を みる。	こづかいが すくない。 すこし 増 ^ふ やして。	りか室 ^{しつ} は、 さんねん せいから 使 ^{つか} います。	ケーキを つくった ことを さくぶん にかく。	さわやかな あきばれ、 しゅうぶん のひ。

たしかめ

28

139	138	137	136	135
冬	心	鳴	首	細
熊は、冬の間は冬眠している。	心細くても、みんながいれば安心だ。	空では雷鳴、鳥も鳴き止む嵐の夜。	百人一首をやりすぎて首が痛い。	この飾り、細かい細工がしてあるね。

たしかめ

29

144	143	142	141	140
市	地	茶	麦	戸
市長さんのお話を聞く。	地球は青くて丸い。	茶色と黒と白の三毛猫。	麦茶を飲んで少し休もう。	台風が近づき雨戸を閉める。

たしかめ

30

149	148	147	146	145
門	才	歩	答	場
門の前に門松を飾る。	子どもは遊びの天才だ。	一日に歩く歩数は一万歩。	正しい答えを正答という。	運動場の砂場で遊ぶ一年生。

たしかめ

31

154	153	152	151	150
馬	室	計	矢	弓
馬二頭、並んで馬車を引いている。	教室で静かに自習をした。	時計を使って時間を計る。	矢が的に当たる。	バイオリンの弓は馬の毛で作る。

たしかめ

28

1 3 9	1 3 8	1 3 7	1 3 6	1 3 5
熊 ^{くま} は、ふゆのあいだはとう眠 ^{みん} している。	こころぼそくても、みんながいれば安 ^{あん} しんだ。	そらでは雷 ^{らい} めい、とりもなきやむ嵐 ^{あらし} のよる。	ひやくにんいつしゆをやりすぎてくびが痛 ^{いた} い。	この飾 ^{かざ} り、こまかいさいくがしてあるね。

たしかめ

29

1 4 4	1 4 3	1 4 2	1 4 1	1 4 0
しちようさんのおはなしをきく。	ち球 ^{きゅう} はあおくてまるい。	ちやいろとくろとしろのみけ猫 ^{ねこ} 。	むぎちやを飲 ^の んですこしやすもう。	たいふうがちかづきあまどを閉 ^し める。

たしかめ

30

1 4 9	1 4 8	1 4 7	1 4 6	1 4 5
もんのまえにかど松 ^{まつ} を飾 ^{かざ} る。	こどもは遊 ^{あそ} びのてんさいだ。	いちにちにあるくほすうはいちまんぽ。	ただしいこたえをせいとうという。	運動 ^{うんどう} じようの砂 ^{すな} ばで遊 ^{あそ} ぶいちねんせい。

たしかめ

31

1 5 4	1 5 3	1 5 2	1 5 1	1 5 0
うまにとう、並 ^{なら} んでばしやをひいている。	きようしつで静 ^{しず} かにじ習 ^{じゆ} をした。	とけいを使 ^{つか} ってじかんをはかる。	やが ^ま 的にあたる。	バイオリンのゆみはうまのけでつくる。

160	159	158	157	156	155
強	弱	売	走	牛	北
相 ^{あい} 手は強 ^い ぞ、強 ^{てき} 敵だ。	弱 ^{じやく} い動物 ^{どうぶつ} を食 ^く べる「弱肉強食」。	新聞も本も売 ^う っている駅 ^{えき} の売店。	助 ^{じよ} 走 ^{そう} から一 ^{いっ} 氣 ^き に全 ^{ぜん} 力 ^{りき} で走 ^{はし} り切 ^き った。	近 ^{おう} 江 ^み 牛、牛の肉 ^{にく} では最 ^{さい} 高 ^{こう} 級 ^{きゆう} 。	日 ^{にっ} 本 ^{ぽん} の一番 ^{いちばん} 北 ^{きた} は北 ^{ほく} 海 ^{かい} 道 ^{どう} 。

160	159	158	157	156	155
相 ^{あい} ては つよいぞ、きよう敵 ^{てき} だ。	よわい 動物 ^{どうぶつ} を たべる「じやくにく きようしよく」。	しんぶんも ほんも うっている 駅 ^{えき} の ばいてん。	助 ^{じょ} そうから いつきに 全 ^{ぜん} りよくで はしりきった。	近 ^{おうみ} 江ぎゆう、うしの にくでは 最 ^{さい} こう級 ^{きゅう} 。	にほんの いちばん きたは ほつかいどう。